

# 平成30年度 会計管理者「政策宣言」達成状況

会計管理者 稲垣一成

## ○ 平成30年度重要事業

事業名	公金の安全でより効率的な管理・運用
目標	正確な収支見通しの把握に努めるとともに、安全性の確保を最優先とし、より効率的な公金の管理・運用を図ります。
年度末達成状況	市税、地方交付税等の収入状況、工事請負費等の支払見込及び前年度の収支実績等を参考に正確な収支見通しの把握に努めました。 また、公金の管理・運用については、安全でかつ有利な定期預金等での運用のほか、基金の一部を活用し債券運用を行い、利子収入を確保しました。
自己評価	預金利率や利回りの低迷等、経済状況が非常に厳しい中、公金の安全かつ有利な運用に努め、一定の利子確保を図ることができました。

事業名	公金取扱状況検査の実施
目標	各課・出先機関等への公金取扱状況検査を実施し、適正な会計事務が行われるよう指導するとともに、公金の取扱いに対する職員の意識向上を図ります。
年度末達成状況	予定していた14か所（金融機関2か所を含む。）全ての現地調査を実施しました。
自己評価	各課・出先機関において、公金取扱業務の適正な執行を確認しました。

事業名	適正な会計事務の執行
目標	法令等に基づき、厳正かつ迅速な伝票審査を行い、公金の適正で確実な支払事務の執行に努めます。
年度末達成状況	会計事務担当職員を対象に、適切な会計処理及び事務の効率化を図るための指導を目的とした説明会を実施しました。
自己評価	説明会の実施等を通じて、適切な会計処理の周知、確実な支払事務の執行に努めました。